

脳神経外科初期研修

◇ 研修目標及び特徴

脳神経外科患者の受け持ちを経験し、病態の理解並びにチーム診療の一員として検査・治療・退院の方針を立てることができるようになることを目標とします。そのために、当科の特徴として、すべての脳血管造影検査、直達手術及び脳血管内手術に参加し基本的手技と脳・神経の手術解剖の基礎を習得していただきます。

◇ 主な対象疾患

脳腫瘍（髄膜腫、神経膠腫、転移性脳腫瘍、下垂体腺腫など）

脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）

神経外傷（急性硬膜下／外血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫など）

機能的疾患（正常圧水頭症、顔面けいれん、三叉神経痛、てんかんなど）

◇ 研修内容（方略）

1. 脳神経疾患患者さんの入院、病歴聴取、所見、検査、診断、治療、退院の流れを組み立てる。
2. 症例に応じたインフォームド・コンセントを取る。
3. 基本的な神経学所見をとり、疾患の鑑別を行う。
4. 各種画像診断の読影。
5. 脳血管造影検査・治療に参加し、基本的技術を習得する。
6. 脳神経疾患の病態に応じた治療薬の選択・処方を学ぶ。
7. 手術に参加し外科手技を習得しつつ臨床解剖を理解する。
8. 手術以外の治療法（化学療法、放射線治療）について理解を深める。

◇ 指導責任者

藤本 康倫

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	手術	手術
火	病棟勤務	脳血管造影検査、脳血管内手術、回診、カンファレンス
水	手術	手術
木	病棟勤務	病棟勤務
金	病棟勤務	脳血管造影検査、脳血管内手術

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する